第9期北海道総合開発計画の推進

RUMOI
DEVELOPMENT & CONSTRUCTION DEPARTMENT

北海道総合開発計画は、北海道開発法に基づき、北海道の資源・特性を活かして、我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため、国が策定する計画です。令和6年3月12日、9期目となる計画が閣議決定されました。

計画の推進に当たっては、北海道の生産空間というリアルをデジタル技術の活用で補強・補完することをコア概念として、官民の垣根を越えた「共創」、社会変革の鍵となるDX・GXの推進、フロンティア精神の再発揮、及び戦略的・計画的な社会資本整備により実効性を高めながら、主要施策を展開することしています。

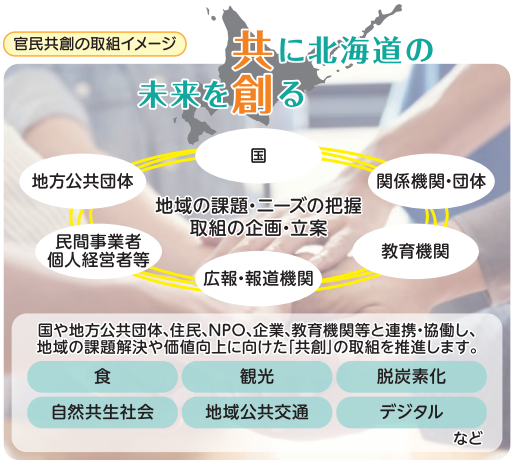
2050年の北海道の将来像

- 食、観光、脱炭素化等の北海道の強みを活かした産業が国内外に展開し、豊かな北海道が実現することで、我が国の経済安全保障に貢献している。
- デジタルの実装により、北海道内の地方部における定住・交流環境が維持されるとともに、国内外から人を魅きつける多様な暮らし方が実現している。

北海道が我が国に貢献するための土台を固め、北海道の価値を更に高めるため、以下の2つの目標を設定します。

目標１：「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」
目標２：「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」

官民共創の取組イメージ



管内市町村の概要

RUMOI
DEVELOPMENT & CONSTRUCTION DEPARTMENT

留萌市 るもいし

KAZUMOちゃん

面積	297.81㎢
人口	18,169人
市町村名の由来	アイヌ語「ルルモッペ」(静かなる川)

概況 留萌管内の行政・経済の中心都市です。かつて鰊漁で栄え、現在はかずの子の加工が全国の生産量の約半分を占めています。留萌沿岸の激しい波浪は「世界三大波濤（はとう）」の一つといわれています。

特産品 かずの子、にしん、たこ、ウニ、ルルロッソ、南るもい米

増毛町 ましけちょう

マーシーくん

面積	369.72㎢
人口	3,620人
市町村名の由来	アイヌ語「マシュキニ」(カモメの多いところ)

概況 幕末の北方警備や交易の要所として栄え、かつて管内の行政・経済の中心地だったこともあり、歴史的建造物が数多く残っています。現在は、温暖な気候を利用した果樹栽培が盛んであり、明治15年創業の造り酒屋を持つ町です。

特産品 さくらんぼ、りんご、國稀（清酒）、甘えび

小平町 おびらちょう

おびまる

面積	627.22㎢
人口	2,664人
市町村名の由来	アイヌ語「オピラウシペツ」(川口に崖のあるところ)

概況 かつて鰊漁で栄えた歴史を今に伝える国指定重要文化財「旧花田家番屋」が有名な町です。町名の由来である小平蘂川は白亜紀の化石の産地として知られているほか、夏は海水浴や海洋スポーツ、キャンプ場が人気です。

特産品 たこの燻製、活ホタテ、アイボリーメロン、おびら和牛

苫前町 とままえちょう

くまだ とまお

面積	454.60㎢
人口	2,666人
市町村名の由来	アイヌ語「トマオマイ」(エゾエンゴサクのあるところ)

概況 日本海オロロンラインのほぼ中間点に位置しており、日本海から吹き付ける強い風を利用した風力発電、凧あげ大会が有名な町です。基幹産業は農業・漁業です。また、獣害史最大の惨劇である「三毛別羆事件」の復元地があります。

特産品 とままえメロン、かぼちゃ、米、たこ、甘えび

羽幌町 はぼろちょう

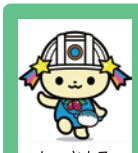
オロ坊

面積	472.65㎢(天売 5.47㎢)(焼尻 5.19㎢)
人口	5,945人(天売 246人)(焼尻 154人)
市町村名の由来	アイヌ語「ハポロペツ」(流れる広大な川)

概況 世界でも珍しい人と海鳥が共生する島・天売島と緑と原生花の島・焼尻島の2つの島を有する、豊かな自然に囲まれた地域です。基幹産業は漁業と農業で、甘エビの水揚げ量は日本トップクラスを誇り、更には日本最北のうるち米の生産地でもあります。

特産品 甘えび、ボタンえび、ホタテ、たこ、うるち米、グリーンアスパラ

初山別村 しょさんべつむら


しょさまる

面積	279.52㎢
人口	1,005人
市町村名の由来	アイヌ語「ソエサンペツ」(滝がそこで流れ出ている川)

概況 管内のほぼ中央に位置し、みさき台公園には村のシンボルである「しょさんべつ天文台」や人気のキャンプ場があります。また、海の中に建つ金比羅神社の鳥居に重なる夕日は絶好のシャッターポイントです。基幹産業は農業・水産業で、豊かな自然と美しい景観に恵まれた村です。

特産品 たこ、もち米、天然ふぐだしそばつゆ、ハスカップ、初山別アイス

遠別町 えんべつちょう

モモちん

面積	590.80㎢
人口	2,258人
市町村名の由来	アイヌ語「ウイエペツ」(相語る川)

概況 基幹産業は農業・漁業で、稲作（もち米）の北限でもあります。日本海オロロンラインは、この町に入ると沿岸風景から一転して、牧畜風景が広がります。エゾカンゾウで有名な金浦原生花園は、ウオウギアヤメやウシツツジなどの植物のほか野鳥も生息しており、町内有数のフォトスポットです。

特産品 もち米、トマトジュース、ミズダコ、ホタテ、えんべつコロッケ

天塩町 てしおちょう

てしお仮面

面積	353.56㎢
人口	2,642人
市町村名の由来	アイヌ語「テシュ」(簗・ヤナ:魚を獲る仕掛け)

概況 天塩川の河口に位置している町で、雄大な自然と美しい夕日景観が特徴です。基幹産業は酪農と漁業であり、酪農では環境整備に力を入れ、良質乳の生産向上に努めているほか、新鮮な牛乳を原料とする加工品も多数あります。漁業では「蝦夷の三絶」の一つと謳われ珍重された天塩の大きなしじみ貝が有名です。

特産品 しじみ貝、てしおキムチ、てしおChuChuプリン、手づくりチーズ、アイス

幌延町 ほろのべちょう

ホロベー
©Horonobe Town

面積	574.10㎢
人口	2,042人
市町村名の由来	アイヌ語「ポロヌプ」(大平原)

概況 サロベツ原野の南端で、北緯45度線が横断する酪農の町です。サロベツ原野は、利尻・礼文サロベツ国立公園に指定されています。トナカイ観光牧場では、一年中トナカイに会うことができます。また、隣接するノースガーデンでは、幻の青いケシを見ることができます。

特産品 合鴨製品、トナカイ肉の加工品、町産ミズナラ樽貯蔵・熟成酒製品

面積は令和7年1月1日現在全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院調べ）、人口は令和7年1月1日現在住民基本台帳人口（北海道総合政策部地域行政局市町村課調べ）